

令和8年度秋季リーグ戦

試合詳細

第4節

2回戦

第2試合

同大 1 - 10 関学

2026年 10月 14日 球場：GOSANDO南港

開始時間：14:13 — 終了時間：16:48 試合時間：2時間35分

審判：(球) 野瀬 (関大OB) (一) 宅間 (立命OB) (二) 和田 (近大OB) (三) 國分 (京大2年生)

勝：奥野谷 栄須 (2-0)

負：内山 璃力 (0-2)

9回終了	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
同大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0
関学	0	0	1	0	1	8	0	0	x	10	15	0

〈戦評〉

関学が中盤に大きく勝ち越し勝利を収め、優勝へ王手をかけた。

先制を許した関学は3回、福谷(4・社)が左中間二塁打を放ち、二死二塁とすると、小林舜(4・川越東)の中越適時二塁打で同点に追いつく。

同点のまま迎えた5回には、高山(4・東播磨)・福谷の連打などで二死一、三塁とすると、またもや小林舜の中前適時打で勝ち越す。

6回に試合が大きく動いた。先頭の伊藤(4・浜松西)の安打から無死満塁の好機を作ると、臼井(4・関西学院)の適時打、宮原(3・大崎)と藤原悠(1・社)の2点適時打などで、この回一挙8得点のビッグイニングで試合を決めた。

投げては、奥野谷(4・広島新庄)が先制を許すも5回を最少失点に抑える好投で今季2勝目を挙げ、救援の伊丹(4・三田学園)も4回無失点の安定した投球を見せた。

同大は先制するも、相手の流れを止めることができず大敗し、優勝の可能性が消滅した。

関学大打者			出身校	打数	得点	安打	打点	四死	三振	残塁	打率
1	(右)	中川 将心	4・広陵	3	0	0	0	0	0	0	0.283
1	打左	臼井 悠真	4・関西学院	2	1	1	1	0	0	0	0.333
2	(二)	高山 隼	4・東播磨	3	2	1	1	1	0	1	0.163
3	(遊)	福谷 宇楽	4・社	4	2	2	1	1	0	1	0.265
4	(三)	宮原 大和	3・大崎	5	1	3	2	0	0	2	0.341
5	(捕)	小林 舜	4・川越東	5	1	2	3	0	0	2	0.362
6	(中)	渡部 遥斗	3・東播磨	5	0	1	0	0	2	1	0.320
7	(指)	伊藤 聡汰	4・浜松西	4	1	2	0	0	0	0	0.500
7	打指	沖 寛太	4・智辯和歌山	1	0	0	0	0	0	0	0.000
8	(一)	藤原 悠宇	1・社	2	1	1	2	2	0	2	0.297
8	打	谷口 功晟	4・関西学院	1	0	0	0	0	1	0	0.000
8	一	久保 諒太	4・東明館	0	0	0	0	0	0	0	0.250
9	(左)	村 亮佑	3・富山第一	4	1	2	0	0	0	2	0.400
9	右	山本 涼颯	4・浜松西	1	0	0	0	0	1	0	0.000
計				40	10	15	10	4	4	11	

二塁打：福谷宇楽(3回), 藤原悠宇(6回)

三塁打：小林舜(3回)

犠 打：高山隼(6回)

暴 投：奥野谷栄須(1回)

チーム残塁：11

関学大投手		出身校	球数	投回	安打	失点	自責	四死	三振	本打	防率
○	奥野谷栄須	4・広島新庄	93	5	6	1	1	3	3	0	2.86
	伊丹健一郎	4・三田学園	51	4	1	0	0	0	5	0	0.00
計			144	9	7	1	1	3	8	0	

関学大打者	打数	得点	安打	打点	1	2	3	4	5	6	6	7	8
1	中川 将心	3	0	0	0	遊ゴロ	二 飛			遊ゴロ			
1	臼井 悠真	2	1	1	1					右安打 1	三邪飛		
2	高山 隼	3	2	1	1	四 球		二ゴロ		投安打	一野犠 1		二ゴロ
3	福谷 宇楽	4	2	2	1	中 飛		左中二		左安打	四 球 1	左 飛	
4	宮原 大和	5	1	3	2	中安打		一 飛		中 飛	右安打 2	中安打	
5	小林 舜	5	1	2	3	二ゴロ		中三打 1		中安打 1	三野選 1	左 飛	
6	渡部 遥斗	5	0	1	0		空三振	左 飛		右 飛	空三振		遊安打
7	伊藤 聡汰	4	1	2	0		一邪飛		中 飛		中安打	三バ安	
7	沖 寛太	1	0	0	0								左 飛
8	藤原 悠宇	2	1	1	2		四 球		二ゴロ		四 球	中二打 2	
8	谷口 功晟	1	0	0	0								空三振
8	久保 諒太	0	0	0	0								
9	村 亮佑	4	1	2	0		右安打		捕邪飛		一バ安	遊ゴロ	
9	山本 涼颯	1	0	0	0								見逃三